

第3期南幌町子ども・子育て支援事業計画（素案）パブリック・コメント回答

町ホームページ及び町広報2月号においてパブリック・コメント（町民等からの意見）を募集しました「第3期南幌町子ども・子育て支援事業計画（素案）」に対しまして、次のとおりご意見をいただきましたので、その内容に対する南幌町子ども・子育て会議及び町の考え方について公表します。

- 【意見募集期間】 令和7年2月1日（土）～2月20日（木）
 【計画案の閲覧場所】 町ホームページ、保健福祉課窓口
 【応募意見状況】 応募者数～2名（メール提出） 意見件数～2件

番号	意見等の内容	子ども・子育て会議・町の考え方
1	不妊治療費助成の幅を広げてほしい。 南幌町子ども・子育て支援事業計画の策定の目的が、「子どもたちが健やかに生まれ育つ環境を整え」とありますが、不妊治療については計画内で触れられておらず、将来子どもをもちたいと考えている家庭に向けられたものではないと考えます。同じように不安を抱えている方がたくさんいると思います。長く辛い不妊治療をお金の心配はしないで済むよう、北海道内の多くの市町村のように不妊治療の助成の幅を広げ、生まれてくる子どもにとっても優しい町であってほしいと思います。	子ども子育て支援事業計画において、今回の第3期計画まではご意見いただいた町の施策については、事業名事業内容を記載していませんでした。 しかし、計画素案1ページ目 第1章 2計画の位置づけに記載をしている通り、「未来の担い手である子どもたちが健やかに生まれ育つ環境を整えること」は、この計画が目指すことのひとつです。よって、町が実施している不妊治療助成事業の事業名・事業内容を、計画の「第5章 基本目標4 親と子どもの健康増進（1）母子保健事業等の推進」に記載をして事業の周知を図ります。 町で行っている不妊治療費助成については、平成30年度より、自費対応であった不妊治療に係る費用の一部助成を行い、令和4年度からは費用を助成していた治療費が医療保険適用となりました。よって、令和6年度からは、北海道の施策とともに、自費対応分の先進不妊治療費及び交通費に要する費用の一部に対して費用助成を行っており今後も同様に続けていきます。 貴重なご意見ありがとうございました。
2	子育て支援事業について、現在継続しているものも含めて意見があります。 無料・無償化をお願いしたいもの 1. 18歳以下の医療費 2. 第二子以降の保育料 3. 小中学校の給食費 4. 公共施設の子どもの入園料 補助があるとよいもの 1. 満1歳までの紙おむつなど子育て用品 2. お米 3. 社会見学などでのバス代	このたび策定する第3期子ども子育て支援事業計画は、主に幼児期における教育・保育に対する需要とそれに対する整備を計画的に推し進めるものです。 子育て支援事業の各種経済的支援については、計画策定に向けて実施したアンケート調査においても、多くの保護者が支援の充実を希望されていました。 子育てに係る支援につきましては、「高校3年生までの医療費無料化」「0歳から中学3年生までを対象とした1人10kgの子育て支援米の支給」のほか、妊娠期・出産時の給付金の支給などを行っています。さらに、令和7年度から、学校給食費の2分の1を町が負担し、保護者の経済的負担軽減に取り組むこととしています。 このたびは貴重なご意見ありがとうございました。